

(昭和 48 年 10 月 31 日児企第 48 号関係)

事 実 婚 解 消 申 立 書		
父 (母)	氏 名	
	現 住 所	
事 実 婚 の 相 手	氏 名	
	事実婚のあった 住 所	
	事 実 婚 の 期 間	
事 実 婚 解 消 の 理 由	1 懐胎時（妊娠時）の状況を書いて下さい 2 事実婚の解消に至った状況を書いて下さい。	
上記のとおり事実婚を解消したことを申し立てます。 令和 年 月 日 氏 名		
上記申し立てのとおり相違ありません。 令和 年 月 日 民生（児童）委員 住所 氏名 印		

- ① 事実婚の解消を理由として支給する場合
- ・ 事実婚の期間、事実婚の状況、相手の状況、現在の状況と今後の見通し等を具体的に記載する。
 - ・ 現在は事実婚を解消し、母子（父子）家庭であることを証明するために必ず民生委員等第三者の証明を受ける。
- ② 離婚後前夫と居住していた場合
- ・ 離婚した後も、前夫（妻）と同居を続けていた場合は、事実婚解消として請求する。